

若者企画の分科会を検討

刈谷で日本女性会議実行委総会

男女共同参画をテーマにした国内最大のイベント「日本女性会議2020あいち刈谷」に向けた二回目の実行委員会総会が十九日、刈谷市役所で開かれた。分科会のテーマ案の協議が始まり、「働き方」「まちづくり」などのほか、若者が企画に携わる分科会の開催を検討していることを事務局側が報告した。

イベントは二〇二〇年十一月十三～十五日に開催。

十三、十四両日に刈谷市内で講演や交流会、分科会、シンポジウムなどを開く。委員長の山根真理愛知教育大教授が「今年の金沢大会でも若い世代が携わる取り組みが歓迎されたと聞く。大学生くらいの年齢層が企画する会を入れてはどうか」と説明。分科会のテーマとして「防災」も提案され、委員からは「喫緊の課題で、防災を切り口とすることで地域や企業、学校などが関わりやすくなる」といった賛成意見があった。



分科会で話し合うテーマを協議する実行委員たち＝刈谷市役所で

ゴタイプを公募することも承認した。

日本女性会議は、男女共同参画社会の実現に向けた課題の解決策を探り、参加者の交流や情報共有を図る目的で一九八四年から毎年開催地を変えて開かれている。
(神谷慶)

この日は全体の大会テーマの協議も始まり、分科会のテーマとともに来年三月下旬の総会で決める予定。大会のシンボルマークと口